

## Business Report

T&amp;K TOKA®

証券コード：4636

## トップメッセージ

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、このほど第81期第2四半期決算がまとまりましたので、ここに2022年4月1日から2022年9月30日までの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

## 《連結業績のご報告》

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、緩やかな持ち直しの動きが続く一方、ウクライナ情勢等による不透明感や、中国やユーロ圏では一部に弱さや持ち直しテンポの鈍化がみられ、世界的な金融引き締めが進む中で金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約などがみられました。このような状況は、当社グループにもエネルギー・物流・原材料コストの上昇及び調達難をもたらしましたが、グループ会社間の連携により製品の供給継続を確保し、各地域への拡販に注力するとともに販売価格の改定を進め、また事業運営の効率化を推進いたしました。

売上高は、219億19百万円（前年同期比1.2%増）となりました。一般UVインキをはじめとする印刷インキは、海外市場を中心とした拡販に加え、幅広い製品において諸コスト上昇に



代表取締役社長  
ますだ よしかつ  
増田 至克

対する販売価格への反映を進め増収となりましたが、機能性材料においてはFPDの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響からカラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込み、上記結果となりました。

営業利益は、3億23百万円（前年同期比2.9%増）となりました。諸コストの増加に対し、幅広い製品において継続的に販売価格の改定に取り組み、また各地域への拡販を進めたことにより、増益となりました。

経常利益は主に為替差益の増加により、16億67百万円（前年同期比57.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は11億44百万円（前年同期比32.0%減）となりました。前年同期は香港の連結子会社の固定資産売却益を特別利益に計上していたことから、減益となりました。

## 《配当金》

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の事業展開に備えた財務体質の強化を図るとともに、安定的な配当を業績に応じて行うことを基本方針としております。

第81期の中間配当につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

期末配当につきましても、1株当たり20円とし、年間配当40円とすることを予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

## 決算ハイライト

売上高

219億19百万円  
前年同期比 1.2%増

営業利益

3億23百万円  
前年同期比 2.9%増

経常利益

16億67百万円  
前年同期比 57.7%増

親会社株主に帰属する四半期純利益

11億44百万円  
前年同期比 32.0%減

### IGAS2022に出展いたしました

2022年11月に東京ビッグサイトにて開催されたIGAS2022 (International Graphic Arts Show 2022) に出展いたしました。IGASは、プリプレス、プリメディア、印刷、製本、紙工、ラベル、パッケージング、クロスメディア関連の最新機材・技術・サービスを一堂に会した国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展です。

当社ブースでは「あたりまえを、これからもTechnology & Kindness meets Sustainability」をテーマとし、今回初出展となる「EBインキ」、環境に配慮したビジネスなど、持続可能な社会の実現のために当社が何を提供できるのかをPRいたしました。

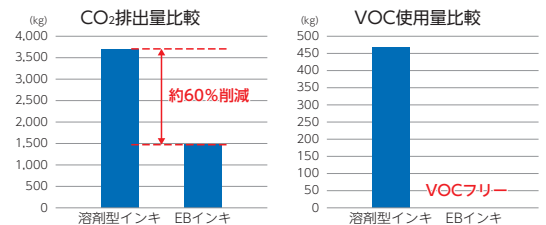


### 次世代製品・EBインキへの取り組み ～地球にやさしいインキへ～

「EBインキ」は、EB (Electron Beam=電子線) の照射により瞬間硬化するインキで、次の特徴があります。

- ・ 溶剤／光開始剤不使用の為、  
低臭かつ安全性が高い印刷物が得られる
- ・ 溶剤不使用の為、VOCフリー！作業環境の改善が図れる

つまり、従来の溶剤型インキに比べて、環境・安全面で優位性があり、食品包装・日用品包装用途等の軟包装印刷に適しています。



【EBインキによる環境負荷低減効果】  
\*同濃度印刷物でのインキ量で算出 (10万m)

### 従来の「溶剤型インキ」から無溶剤の「瞬間硬化インキ (EBインキ)」への転換を実現し社会課題を解決！

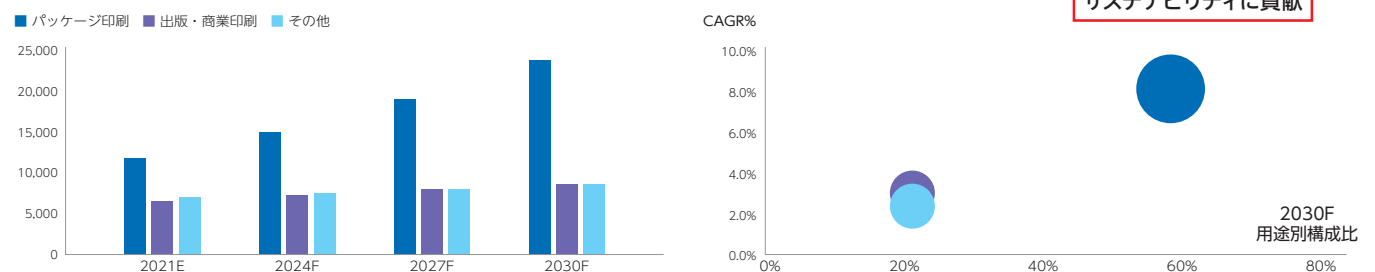
世界の印刷インキの用途別需要予測において、パッケージ印刷用途は将来に巨り成長が見込まれています。大きな市場規模を持つ軟包装分野の主流である溶剤インキは、世界的に環境・安全面で改善の余地を残しているといえますが、EBインキは、その特徴から従来の溶剤インキの課題解決に適しており、当社にとって成長に向けた新領域となると考えております。

「溶剤インキ」から「EBインキ」への転換を実現することで、社会課題の解決と当社の事業成長の両立を図り、2031年3月期に軟包装EBインキ売上高100億円超を目指します。

パッケージ印刷分野の内訳と当社のインキ製品展開状況 (現状)

主な印刷方式	パッケージ印刷						
	ラベル		紙器		軟包装		段ボール
主な印刷方式	レタープレス	フレキシ	フレキシ	オフセット	グラビア	フレキシ	フレキシ
主なインキ種	UVインキ	UVインキ	水性インキ	植物インキ	UVインキ	溶剤インキ	溶剤インキ
当社の市場優位性	◎	○	—	○	◎	△	—

印刷インキの用途別世界市場 2021-2030予測 (US\$ Mn)



EBインキへ転換し、サステナビリティに貢献

### メディア掲載情報

米国雑誌「Newsweek」(国際版) 2022年9月30日号、「株主手帳2022年10月号」の2誌に当社の記事が掲載されました。

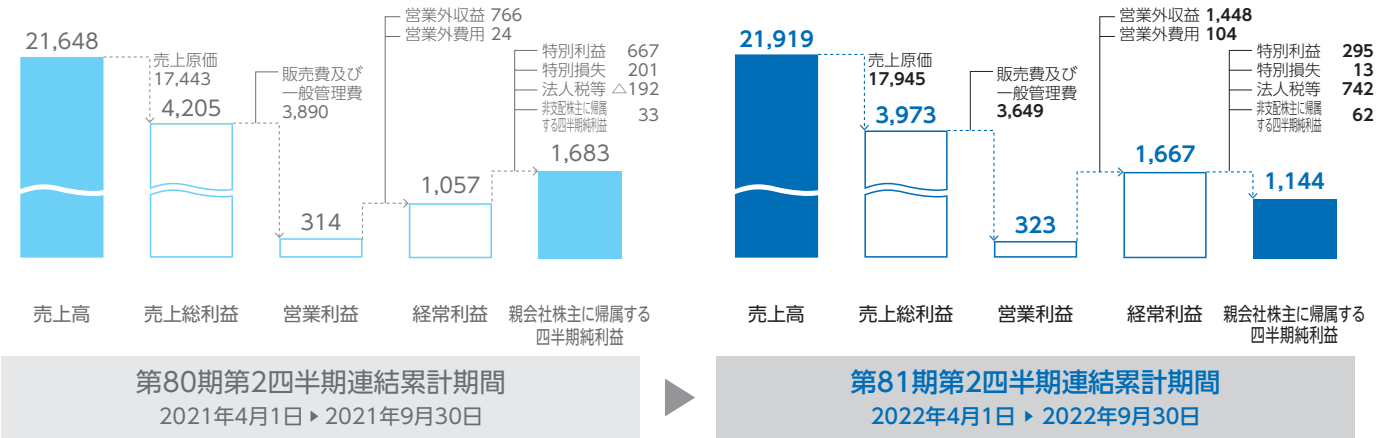
EBインキへの取り組み等、事業展望について代表取締役社長 増田のインタビューが掲載されております。当社ウェブサイトにて記事をご覧ください。

ウェブサイトURL  
<https://www.tk-toka.co.jp/corp/ir/news/>

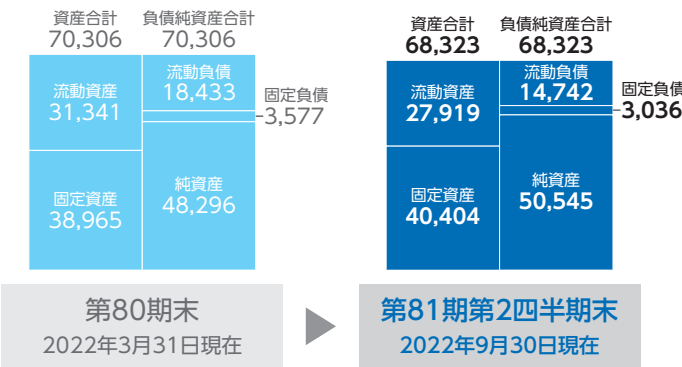


# 連結財務諸表

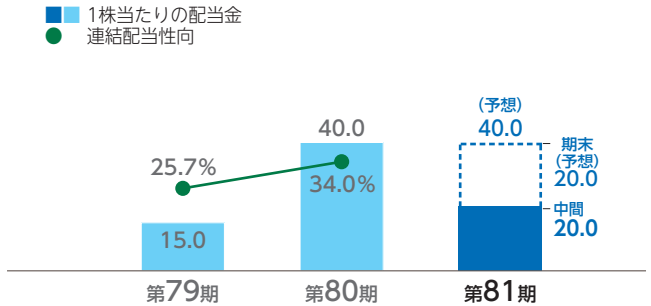
## ▶ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



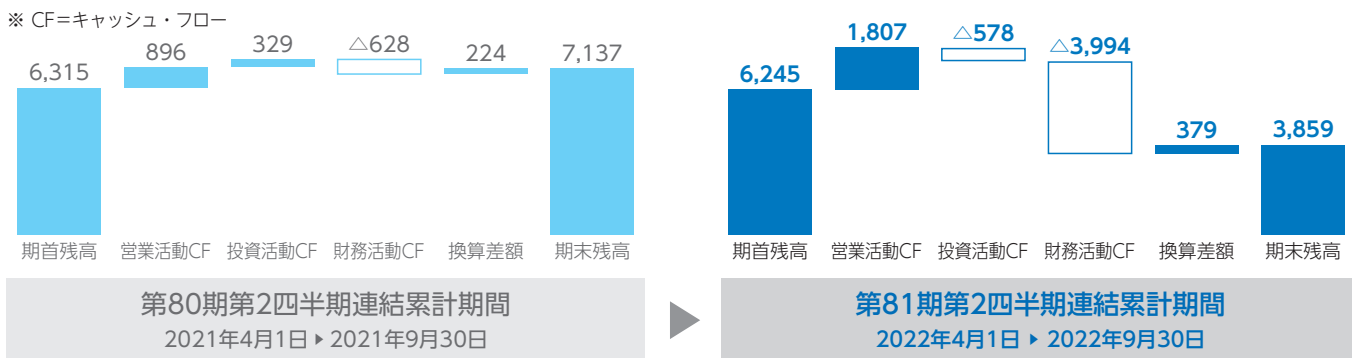
## ▶ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



## ▶ 1株当たりの配当金・連結配当性向 (単位：円)



## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



## ▶ 当第2四半期 財政状態の説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて19億83百万円減少し、683億23百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産3億77百万円、投資有価証券9億90百万円であり、主な減少要因は、現金及び預金24億23百万円、受取手形及び売掛金16億36百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて42億32百万円減少し、177億78百万円となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金6億8百万円、電子記録債務5億60百万円、短期借入金24億46百万円、1年内返済予定の長期借入金69百万円、長期借入金3億71百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて22億49百万円増加し、505億45百万円となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益11億44百万円、為替換算調整勘定19億23百万円であり、主な減少要因は、役員向け株式交付信託による自己株式取得2億36百万円、配当金の支払い6億76百万円であります。

## 会社の概要

商号 株式会社T&K TOKA  
T&K TOKA CO., LTD. (英文名)  
創業 1947年(昭和22年) 3月25日  
設立 1949年(昭和24年) 12月23日  
本社所在地 埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢283番地1  
代表者 代表取締役社長 増田 至克  
資本金 21億22百万円  
事業内容 各種印刷用インキ、機能性材料(機能性樹脂、精密分散品)の製造販売、印刷機及び印刷関連機材の販売  
従業員数 651名(44名)  
注:パート及び嘱託社員は()内に平均人員を外数で記載

## 役員一覧

代表取締役社長	増	田	至	克
常務取締役	中	間	和	彦
取締役	栗	本	隆	一
取締役	高	見	沢	昭
取締役	関	根	秀	明
社外取締役	葉	山	彩	蘭
社外取締役	岩	本	信	徹
社外取締役(監査等委員)	大	高	健	司
社外取締役(監査等委員)	野	口	郷	司
社外取締役(監査等委員)	英		公	一
社外取締役(監査等委員)	木	村	英	明

## 事業拠点



海外拠点(子会社) 株式会社チマニートカ: インドネシア共和国  
韓国特殊インキ工業株式会社: 大韓民国  
トオカ(タイランド)株式会社: タイ王国  
浙江迪克東華精細化工有限公司: 中華人民共和国  
T&K TOKA U.S.A., INC.: アメリカ合衆国  
Van Son Holland Ink Corporation of America: アメリカ合衆国  
Midwest Ink Co.: アメリカ合衆国

## 株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株  
発行済株式総数 22,664,240株  
株主数 5,252名

## 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 毎年決算期日の翌日から3ヵ月以内  
剰余金配当基準日 3月31日及び中間配当を行うときは9月30日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
ご注意		
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い		・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりであります。  
<https://www.tk-toka.co.jp/ir/kokoku/>

## ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。どうぞご覧ください。



<https://www.tk-toka.co.jp/>

T&K 検索